

## 4-9 シリア

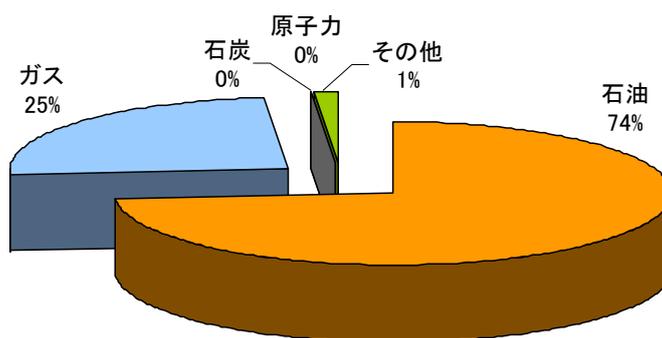
### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

シリアの石油確認埋蔵量は 25 億バレル(2009 年末時点)で R/P は 18.2 年である。  
また、ガスの確認埋蔵量は 2,800 億 m<sup>3</sup>(2009 年末時点)で R/P は 48.9 年となっている

- (1)一次エネルギー供給量(2008 年) : 石油換算 1,970.1 万トン(日本の 4.0%)
- (2)一人当たりの一次エネルギー供給量(2008 年) : 石油換算 0.93 トン/人(同 23.9%)
- (3)エネルギー自給率(2008 年) : 119%(純輸出国)
- (4)エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2008 年) : 二酸化炭素 5,370 万トン(同 4.3%)
- (5)一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2008 年) : 二酸化炭素 2.62 トン/人(同 27.1%)
- (6)エネルギー源別可採年数(2009 年末) : 原油 18.2 年、天然ガス 48.9 年

一次エネルギー供給構成 (2008 年)



(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries 2010

### 2. エネルギー政策のポイント

#### (1) エネルギー政策担当機関

石油に関しては、2006 年 8 月に Public Establishment for Petroleum(PEP:公立石油機構)と Public Establishment for Oil Refining and Distribution of Petroleum Products(PEORDPP:公立石油精製・石油製品流通機構)の 2 機関が石油産業の上流及び下流部門を統括するため設立された。両機関共、石油鉱物省に付置している。天然ガスの開発・生産・精製に関しては、2003 年 2 月に SPC(Syrian Petroleum Company)に代わり、国営 SGC(Syrian Gas Company)が設立された。

#### (2) 基本政策

原油生産量は漸減しており、外資を導入して探鉱・開発を推進する方針。米国から「テロ支援国家」に未だ指定されており、オバマ米国新政権と打開策を模索し始めている。

(3) 最近の動向

ベネズエラのチャベス大統領は、2009 年 9 月イランを訪問しアハマディネジャド大統領と会談した際、PDVSA がシリアに 20 万 b/d の製油所を建設する予定であることを表明した。また、イラン石油省は同年同月、イランとベネズエラが合弁会社を通じシリアで製油所建設を計画していることを明らかにした。イラン国営 PetroPars とベネズエラ国営 PDVSA が共同出資する石油開発会社を通じて投資する。ベネズエラが 33%、イランが 26%を出資し、他にシリアとマレーシアも出資する予定。製油所は 14 万 b/d の原油処理能力を持ち、イランとベネズエラ、シリアが原油を供給する。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

地理的な関係から特に深い関係にはない。シリアは中東和平、レバノン問題では重要な鍵を握る国であることから、外交的には日本にとっても重要な国といえる。

2. 主要エネルギー指標

(2008 年)

(1) 一次エネルギー供給量		19.701	石油換算百万トン
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.93	石油換算トン/人
(3) GDP 当たりの一次エネルギー供給		0.72	石油換算トン/千ドル
(4) エネルギー自給率		119	%
(5) エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (2007 年)		53.70	二酸化炭素百万トン
(6) 一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (2007 年)		2.62	二酸化炭素トン/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0	%
	石油	73.9	%
	ガス	24.8	%
	原子力	0	%
	その他	1.3	%
	再生可能エネルギー	0	%
(8) エネルギーの輸入依存度		0	%
(9) 石油の輸入依存度		0	%
(10) 輸入原油の中東依存度		-	%
(11) 原油輸入先	第 1 位		-
	第 2 位		-
	第 3 位		-

(出所) (1)~(4) および (7)~(9) は IEA-「Energy Balances of Non- OECD Countries 2010 EDITION」 Edition、(5)~(6) は IEA-「CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2010、Edition